

食育だより 3月号

平成28年3月10日
高浜小学校

ひがしにほん だいしんさい ねん
東日本大震災から5年・・・



「ありがとう」の反対の言葉とは？

「ありがとう」の反対の言葉って何だと思いますか？

世界中の人々から愛され、そして尊敬されたマザー・テレサは、「ありがとう」の反対の言葉は「あたりまえ」と言ったそうです。漢字で、「ありがとう」は「有難う」と書きます。「有ることがとても難しい」、つまり貴重で大切だということです。だから感動し、感謝するのですね。それが「あたりまえ」だと思ってしまうと、驚きも感謝の気持ちも生まれません。

先の東日本大震災で、電話が通じなくなったとき、電気がつかなくなったとき、家族と話せることや電気がつくことって、本当に「ありがたい」ことなんだとあらためて思いました。でも時間がたつと、そんなことも忘れてしまいがちです。太陽のことを「おひさま」といいますね。日の光をありがたいものだという気持ちの表れだと思います。一度、身の周りの「あたりまえ」に目を向けてみましょう。もし、それがなくなってしまうたら・・・。きっと「ありがたい」と思はずです。

ここで井村和清さんの「あたりまえ」という詩の一節を紹介しします。井村さんは、「飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ」という本を書いた人で、お医者さんをしていました。そして32歳という若さで、病気でこの世を去りました。

あたりまえ

いむら かずよし
井村 和清

こんなすばらしいことを、
みんなはなぜよろこばないのでしょう
あたりまえであることを

ちゅうりやく
(中略)

しょくじ た
食事が食べられる

よる になるとちゃんと眠れ、そしてまた朝がくる

くうき
空気をむねいっぱいにする

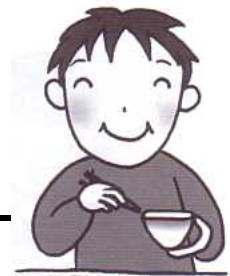
わら な さけ
笑える、泣ける、叫ぶこともできる

はし
走りまわれる

みんなあたりまえのこと

こんなすばらしいこと、みんなは決してよろこばない

そのありがたさを知っているのは、それを失くした人たちだけ



まいにちしょくじ
毎日食事ができることは、はたして「あたりまえ」のことでしょうか。

まいにち
毎日「あたりまえ」のようにあるものが、じつは「ありがたい」こと、いろいろな人のおかげであること。「ありがとう」と、心から言える人でいてください。

